

ロンドンにおける日本文化・観光 PR イベントで自治体を PR しました！ ～ ジャパン祭り 2012 ～

ロンドン事務所

ロンドンでは、2012 年 10 月に日本の文化・観光を PR するイベント「ジャパン祭り 2012」が開催され、当事務所はブース出展し、事前に自治体等にご提供いただいた観光パンフレット等を用いて日本の自治体を PR しました。

1. 欧州最大規模の日本イベントに 6 万人が来場

ジャパン祭りは、ロンドンで 2009 年から開催されている欧州最大規模の日本文化・観光 PR イベントで、今回で 4 回目を迎え、会場は世界各国から観光客が絶えず集まるトラファルガー広場で開催されました。メインステージでは、のど自慢、和太鼓、ラジオ体操等、武道ステージでは、柔道、剣道、空手等のデモンストレーションが行われ、各出展ブースでは、焼きそば、ラーメン、お好み焼き、日本酒等日本食の販売や、旅行会社、航空会社等による日本への旅行者誘客も行われました。当日は天候にも恵まれ、手狭な会場でありながら約 6 万人もの来場者が訪れ、イベントは大盛況となりました。



イベント会場の様子

【イベント概要】

名称	ジャパン祭り 2012
日時	2012 年 10 月 6 日 (土) 11:00~21:00
会場	トラファルガー広場
主催者	Japan Matsuri Ltd (協賛 4 団体による共同設立)
後援	在英日本国大使館 (広報文化センター)
協賛	在英日本商工会議所、日本クラブ、ジャパンソサエティ、英国日本人会
主なステージショー	のど自慢、合唱、ラジオ体操、和太鼓、津軽三味線、ロリータファッションショー、よさこい踊り、日本舞踊、柔道、剣道、合気道、空手等
出展ブース数	55 (日本食、絵画・工芸品、服飾品・織物、観光等)
来場者数	約 6 万人 (一般参加者) ※前回は約 7 万人
入場料	無料
ウェブサイト	http://japanmatsuri.com/ (英語)

2. クレアロンドブース出展内容

当事務所ブースは、事前に主催者にお申し、日本政府観光局（JNTO）のブースと隣接して同じテント内に設置いただきました。JNTO ブースでは日本への観光に関する全般的な情報や、東京、京都、大阪等主要都市の観光情報を提供し、当事務所ブースでは自治体からご提供いただいたパンフレット等を用いて各自治体の具体的な観光情報を提供することで、日本への観光客誘客への相乗効果を図りました。



クリアロンドブースの様子

また当事務所ブースの一角では、岩手県、宮城県、福島県にご提供いただいた観光パンフレットや DVD 等を用いて、東日本大震災の被災地復興情報の提供を行いました。

さらには、ブース全体の印象を明るくし、来場者の目を引くため、ご提供いただいたポスターをテント内に掲示しました。できるだけ多くの自治体のポスターを掲示するため、一定時間ごとに貼り替えを行いました。パンフレットは約 4,000 部配布し、ポスターは約 40 枚使用しました。

3. 来場者の傾向～老若男女幅広く～

当事務所ブースへの来場者層は、感触として 8 割が英国人又は非日本人の観光客で、年齢層は友人連れの 10 代から家族連れ、60 代の夫婦まで幅広く来場されました。来客者の目的としては、全体的に日本に興味を持っている方が多かったですが、これまで日本に行ったことがなく将来行きたいと考えている方、日本への具体的な旅行計画があり旅行先のパンフレットを探していた方、日本に何回も旅行経験のある日本好きの方など、その度合いはさまざまなものでした。

質問の内容としては、旅行先としておススメの場所はどこか、旅行する場合一番いい季節はいつか等の一般的な質問から、具体的な地名を挙げての質問もあり、ご提供いただいたパンフレットを活用しながら説明しました。質問が多かったものは以下のとおりです。



パンフレット配布の様子

- ・日本に旅行する場合、おススメの場所はどこか。
- ・日本に旅行する場合、一番いい季節はいつか。
- ・桜を見ることができる季節はいつか。どこで見られるか。
- ・東京近郊から日帰りで行ける場所はどこか。

- ・東京、京都、大阪以外で、おすすめの場所はどこか。
- ・ウィンタースポーツができる場所はどこか。
- ・おすすめのビーチはどこか。
- ・東京、京都、大阪から〇〇（地名）への移動時間・手段は。
- ・英語が通じるか。英語表記の表示はあるか。

また、来客者から震災被災地の現状や原発事故の影響について、質問や心配の声を多数いただきました。被災地自治体からご提供いただいたパンフレット、首長メッセージ付き DVD 等を活用しながら、被災地においては津波の被害を受けた沿岸部等の一部の地域を除き、観光資源が概ね復旧している現状を説明するとともに、観光に来ていただくことが復興支援につながることから、ぜひご来訪いただくよう PR しました。特に、原発事故関係の質問については、誤解を招かないよう、JNTO ウェブサイト上に掲載されている情報¹等を活用し、正確な情報を伝えました。震災から 1 年半以上が経過し事態の風化が懸念されるのですが、英国でもまだ多くの方々が心配してくれている事実を確認でき、非常に感銘を受けるとともに、被災地の正確な情報を伝え、現地への観光客誘客につなげることが、復興支援の一つとして今後も重要であると感じました。

パンフレットの配布については、数量が非常に多かったため基本的にはテーブル上に配置し、来客者に自由に手に取っていただける形にしました。来客者が手に取りやすいパンフレットについては主に以下の傾向がみられました。

- ・パンフレットのデザイン、色合いが鮮やかで目立つもの。
- ・日本文化特有のもの（伝統的なものからアニメまで）が掲載されているもの。
- ・知っている地名（名前）のもの。
- ・自然、田舎の風景写真が掲載されているもの。

上の3つについては英国に限らず海外ではよく見られる特徴かと思いますが、4つ目については、自然、田舎が好きな英国の方々ならではの感覚が反映されたものと感じました。また、東京、京都、大阪以外に「どこかに行きたい」という方も多く、こういった漠然としたイメージを求める方に対しては、比較的広域圏のパンフレットが好評でした。

4. イギリスでは、パンフレット配布用の袋がカギ

また、パンフレットを配布する際に好評だったのが、配布用に作成した当事務所ロゴ入りのビニール袋です。単純な話ですが、英国の方々には、袋がないとなかなかパンフレットを持ち帰ってくれません。しかし、袋があると喜んで多くのパンフレットを持ち帰っていただけます。かなり多くの数を配布したので、イベント中盤頃に



¹ JNTO 震災関係ウェブサイト：http://www.into.go.jp/eq/eng/04_recovery.htm

当事務所ロゴ入りの袋

会場内を見て回っていると、半数以上の方が当事務所ロゴ入り袋を持って歩いており、この袋は当事務所の宣伝としても一役買っていました。

ロンドン事務所では、適宜、本イベントのような機会を捉え、自治体 PR 活動を行っておりますので、イベントに関するお問い合わせ等ございましたらお気軽にご連絡ください。

★会場で実施したアンケートの結果はこちらから

http://www.jlgc.org.uk/jp/pdf/blog/london_economic_event.pdf

(細越所長補佐 宮城県派遣)

